

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

INOMATA
30f4
2000-389329
u.s.

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 2月20日

出願番号

Application Number:

特願2001-043529

出願人

Applicant(s):

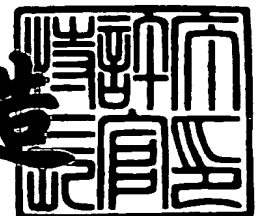
日本電気株式会社



2001年 8月10日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3070694

【書類名】 特許願

【整理番号】 66000089

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
 日本電気株式会社内

 【氏名】 猪俣 義弘

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100096024

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 柏原 三枝子

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 054276

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9805682

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ロッカー管理システムを活用した広告方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも一のロッカーボックスを具えるロッカーと、当該ロッカーの管理運営を行うロッカー管理主体と、前記ロッカーの利用者が有する通信端末をネットワークを介して接続して、前記ロッカー管理主体とロッカー利用者との間で通信を行って、各ロッカーボックスの解錠、施錠動作を前記ロッカー管理主体の管理の下に行うようにしたロッカー管理システムを構築し、前記ロッカーまたはロッカーボックスの各々に広告媒体を配置して、前記ロッカー管理主体が得たロッカー利用者の情報に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容、および広告を行うタイミングを決定することを特徴とする広告方法。

【請求項 2】 前記ロッカー管理主体が、前記ロッカー利用者の情報またはこの情報を処理した加工情報を広告主体に提供し、前記広告主体がこの情報または加工情報に応じて前記広告内容および広告のタイミングを選択することを特徴とする請求項 1 に記載の広告方法。

【請求項 3】 前記広告媒体が画像情報を表示するディスプレイ装置および／または音声情報を表示する音響発生装置であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の広告方法。

【請求項 4】 前記ロッカー利用者が一時的に物を預けるべく前記ロッカー管理システムを利用する場合において、前記ロッカー利用者がロッカーボックスを開ける際に前記広告媒体を介して広告を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の広告方法。

【請求項 5】 前記ロッカー利用者が商品を購入し、当該商品の受け渡しに前記ロッカーシステムを利用する場合において、前記商品購買者がロッカーボックスから商品を取り出す際に前記広告媒体を介して広告を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の広告方法。

【請求項 6】 前記広告媒体が広告記事を記載した紙、またはプラスチック片であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の広告方法。

【請求項 7】 前記ロッカー利用者が一時的に物を預けるべく前記ロッカー管

理システムを利用する場合において、前記ロッカー利用者がロッカーボックスを開ける際に前記広告媒体を介して広告を行うことを特徴とする請求項6に記載の広告方法。

【請求項8】 前記ロッカー利用者が商品を購入し、当該商品の受け渡しに前記ロッカーシステムを利用する場合において、前記商品購買者がロッカーボックスから商品を取り出す際に前記広告媒体を介して広告を行うことを特徴とする請求項6に記載の広告方法。

【請求項9】 前記商品を販売する販売者がロッカーボックスに前記商品を格納する際に、前記広告内容を書せた広告媒体を当該ロッカーボックスに投入することを特徴とする請求項8に記載の広告方法。

【請求項10】 前記商品の格納を宅配業者を介しておこなうことを特徴とする請求項5又は9に記載の広告方法。

【請求項11】 前記広告主体が前記ネットワークに接続された通信端末を具え、前記ネットワークを介して前記ロッカー管理主体と通信を行って、前記ロッカー利用者に関する情報または加工情報のやりとりを行うことを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載の広告方法。

【請求項12】 前記ロッカー管理主体から得たロッカー利用者情報に基づいて、前記広告主体が直接広告を行うことを特徴とする請求項11に記載の広告方法。

【請求項13】 前記ロッカー管理主体から得たロッカー利用者情報に基づいて、前記広告主体がロッカー管理主体に広告内容を指示し、この指示に基づいて広告を行うことを特徴とする請求項11に記載の広告方法。

【請求項14】 前記広告にかかる費用を、前記広告主体に提供された前記情報または加工情報の情報量に応じて、または前記画像表示手段または音響発生手段から流した広告の文字数、あるいは時間等の情報量に応じて、または前記広告記事を記載した紙をロッカーボックスに入れた回数に応じて、前記広告主体と前記ロッカー管理主体との間で決済することを特徴とする請求項1乃至13のいずれかに記載の広告方法。

【請求項15】 前記決済を行う決済機関が前記ネットワークに接続されて

おり、前記広告にかかる費用をネットワークを介して決済することを特徴とする請求項14に記載の広告方法。

【請求項16】 ネットワークと、少なくとも一のロッカーボックスを具えるロッカーと、当該ロッカーの管理運営を行うロッカー管理主体と、前記各ロッカーボックスの解錠、施錠動作を制御するロッカー制御装置と、広告主体と、前記ロッカー、またはロッカーボックスの各々に配置された広告媒体と、ロッカー利用者に関する情報を蓄積する情報蓄積手段と、を具え、

少なくとも前記ロッカー制御装置と、前記ロッカー管理主体と、前記ロッカーを利用するロッカー利用者の有する通信端末とを前記ネットワークで接続して、ロッカーボックスの解錠、施錠動作を前記ロッカー利用者の依頼に基づいて前記ロッカー管理主体が行い、この解錠、施錠動作を行う際に前記情報蓄積手段に蓄積した情報に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容を決定することを特徴とする広告システム。

【請求項17】 前記広告主体が前記ネットワークに接続されており、前記広告主体と前記ロッカー管理主体間で通信を行って、前記広告媒体に載せる広告内容を決定することを特徴とする請求項16に記載の広告システム。

【請求項18】 前記広告媒体が、画像表示装置および／または音響発生装置であり、これらの装置が前記ネットワークに直接に、あるいは前記ロッカー制御装置を介して接続されており、前記ロッカー管理主体あるいは広告主体から送られてくる広告内容を画像情報として、および／または、音声情報として表示して広告を行うことを特徴とする請求項16又は17に記載の広告システム。

【請求項19】 前記広告媒体が広告内容を記載した紙またはプラスチック片であることを特徴とする請求項16又は17に記載の広告システム。

【請求項20】 前記システムが、前記ロッカー管理主体と前記広告主体間で前記広告にかかる費用を決済する決済手段を更に具えることを特徴とする請求項16乃至18のいずれかに記載の広告システム。

【請求項21】 前記決済を行う決済機関が前記ネットワークに接続されており、前記広告にかかる費用を前記ネットワークを介して決済することを特徴とする請求項20に記載の広告システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はロッカーシステムを活用した広告方法に関し、特に、使用するロッカーとそのロッカー利用者を特定し、そのロッカーの利用者に個別に広告を行うようにした広告方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

手荷物等を一時的に保管する施設として、例えば、コインロッカーシステムが普及している。従来のコインロッカーシステムは、機械的な鍵が使用されており、使用していないロッカーは通常は解錠された状態にある。利用者は預ける物をロッカーボックスに入れた後、コイン投入口にコインを入れてロッカーボックスを施錠し、鍵を抜き取って、利用期間中これを保管する。

【0003】

本出願人はこのような従来のロッカーシステムが有する諸問題を解決すべく、特願2000-389329号において、ロッカー（ロッカーボックス）と当該ロッカーを運営管理するロッカー管理センタとをネットワークで接続して、ロッカー利用者が有する通信端末とロッカー管理センタ間で前記ネットワークを介して通信を行って前記ロッカーの施錠、解錠動作を管理するようにしたロッカー管理システムを開示した。

【0004】

他方、広告方法としては、例えばテレビ、ラジオなどのマスコミニュケーションを利用したもの、あるいは、広告塔などを利用したものなど様々な方法が従来より採用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、これらの従来の広告方法では、広告を行う対象者を絞り込むことができず、特定の者に対して特定の内容で効果的に広告を行うことができない。従来のコインロッカーシステムを利用して、空いているロッカーにちらしを配

布するなどの方法も考えられるが、チラシを配布したロッカーボックスを次に誰が使用するかを事前に知ることはできないため、これも効果的でなく、ロッカーを利用した広告はあまり行われていない。

【0006】

本発明者は、前記特願2000-389329号で提示した新たなロッカー管理システムでは、ロッカー管理センタが、ロッカー利用者の個人情報を得ることができること、及び、ある時点のロッカーボックスの利用者を特定することが可能であることに着目し、本発明においては、このロッカー利用者に係る情報を活用して利用者に適した広告内容を選択して、効率的な広告方法を提供しようとするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の広告方法は、少なくとも一のロッカーボックスを具えるロッカーと、当該ロッカーの管理運営を行うロッカー管理主体と、前記ロッカーの利用者が有する通信端末をネットワークを介して接続して、前記ロッカー管理主体とロッカー利用者との間で通信を行って、各ロッカーボックスの解錠、施錠動作を前記ロッカー管理主体の管理の下に行うようにしたロッカー管理システムを構築し、前記ロッカーまたはロッカーボックスの各々に広告媒体を配置して、前記ロッカー管理主体が得たロッカー利用者の情報に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容、および広告を行うタイミングを決定することを特徴とする。

【0008】

このように、本発明の広告方法では、ロッカー管理主体とロッカー利用者間で通信を行ってロッカーボックスの解錠、施錠動作をロッカー管理主体が行うようにしたロッカー管理システムを利用しており、ロッカー管理主体は、例えばロッカーシステムの利用申し込み手続等から、ロッカー利用者に関する個人情報と、その利用者がどのロッカーをいつ利用するかについての情報を得ることができる。従って、この情報に基づいて広告内容と、広告を行うタイミングを決定して広告を行うことにより、ロッカー利用者に適した広告を効果的に行うことができる

【 0 0 0 9 】

また、本発明の広告方法は、前記ロッカー管理主体が、前記ロッカー利用者の情報またはこの情報を処理した加工情報を広告主体に提供し、前記広告主体がこの情報または加工情報に応じて前記広告内容および広告のタイミングを選択することを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

このように、ロッカー利用者に関する情報を広告主体に提供することによって、広告主体が希望する利用者を特定して、当該利用者に合った広告を行うことが可能となり、より効果的な広告方法を提供することができる。

【 0 0 1 1 】

前記広告媒体としては、画像情報を表示するディスプレイ装置、および／または、音響発生装置を好適に用いることができる。

【 0 0 1 2 】

また、前記広告媒体は紙あるいはプラスチック片であってもよく、この場合は、広告記事を記載した紙またはプラスチック片を前記ロッカーボックスに入れることにより広告を行うことができる。

【 0 0 1 3 】

ロッカーの利用形態としては、ロッカー利用者が一時的に物を預けるべく前記ロッカー管理システムを利用する場合と、ロッカー利用者が商品を購入し、当該商品の受け渡しに前記ロッカーシステムを利用する場合が考えられる。前者の場合は、さらに、物を預ける利用者と、預けた物を取り出す利用者とが異なる場合も考えられる。前者の場合は、ロッカー利用者が物を預ける際と、預けた物を取り出す際に前記広告媒体を介して広告を行うことが可能である。また、後者の場合は、商品販売者が納品した商品をロッカー利用者（商品購買者）が取り出す際に広告を行うことが可能である。

【 0 0 1 4 】

後者の場合、更に、商品販売者がロッカーボックスに商品を格納する際に、前記広告内容を載せた広告媒体を当該ロッカーボックスに投入して広告を行うこと

が可能である。この場合、広告媒体は紙またはプラスチック片等であることが好ましい。なお、ロッカーボックスへの商品の格納は宅配業者を介しておこなうようにしてもよい。

【 0 0 1 5 】

また、本発明の広告方法は、前記広告主体が前記ネットワークに接続された通信端末を具え、前記ネットワークを介して前記ロッカー管理主体と通信を行って、前記ロッカー利用者に関する情報または加工情報のやりとりを行うことが好ましい。

【 0 0 1 6 】

なお、この場合、広告主体が直接に広告媒体を操作して広告を行うこともできるし、ロッカー管理主体に広告内容を指示し、ロッカー管理主体がこの指示に基づいて広告を行うようにしてもよい。

【 0 0 1 7 】

前記広告にかかる費用は、前記広告主体に提供された前記情報または加工情報の情報量に応じて、または前記画像表示手段または音響発生手段から流した広告の文字数、あるいは時間等の情報量に応じて、または前記広告記事を記載した紙をロッカーボックスに入れた回数に応じて、前記広告主体と前記ロッカー管理主体との間で決済することができる。

【 0 0 1 8 】

一般に、広告の効果量は、広告主体が得た利用者に係る情報量や広告客体（ロッカー利用者）に与えた情報量に比例するため、これらの情報量に応じて広告費用を徴収することが好ましい。広告客体に与えた情報量は、本発明の広告方法においては、ロッカーボックスの扉の開閉数、または、画像表示装置上に表示した広告の文字数、あるいは音響発生装置から流した広告時間などで計算することが可能である。このようにして費用を計算することで、広告量に応じてきめ細かく料金徴収を行うことが可能となり、広告主体にとっては費用的にも効率良く広告することが可能となる。

【 0 0 1 9 】

なお、前記決済を行う決済機関を前記ネットワークに接続して、前記広告にか

かる費用をネットワークを介して決済することが好ましい。

【0020】

本発明は、更に、ネットワークと、少なくとも一のロッカーボックスを具えるロッカーと、当該ロッカーの管理運営を行うロッカー管理主体と、前記各ロッカーボックスの解錠、施錠動作を制御するロッカー制御装置と、広告主体と、前記ロッカー、またはロッカーボックスの各々に配置された広告媒体と、ロッカー利用者に関する情報を蓄積する情報蓄積手段と、を具え、

少なくとも前記ロッカー制御装置と、前記ロッカー管理主体と、前記ロッカーを利用するロッカー利用者の有する通信端末とを前記ネットワークで接続して、ロッカーボックスの解錠、施錠動作を前記ロッカー利用者の依頼に基づいて前記ロッカー管理主体が行い、この解錠、施錠動作を行う際に前記情報蓄積手段に蓄積した情報に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容を決定することを特徴とする広告システムに関する。

【0021】

なお、前記広告主体を前記ネットワークに接続して、前記広告主体と前記ロッカー管理主体間で通信を行って、この通信結果に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容を決定するように構成することによって、広告内容の管理、広告を行うべきロッカーの選択等をより円滑に行うことができる。

【0022】

本発明のシステムは、前記ロッカー管理主体と前記広告主体間で前記広告にかかる費用を決済する決済手段を更に具えている。この決済機関は前記ネットワークに接続して、広告にかかる費用を前記ネットワークを介して決済することが好ましい。

【0023】

なお、ロッカー管理主体は、前記決済機関、商品販売者、宅配業者、ロッカー利用者との間の通信を携帯電話を用いて行う場合は携帯電話業者が兼ねることが可能であり、この場合、各種主体間の情報伝達を省略でき、より効率的かつ機密性の高い広告方法を提供することができる。

【0024】

また、本発明の広告方法、広告システムにおいては、さまざまな広告主体が考えられる。ロッカー利用者に商品の販売を行う店舗、その商品をロッカーに配送する宅配業者はもちろんのこと、決済機関や、携帯電話業者、あるいはロッカー管理主体自体が広告主体となることも考えられる。さらには、利用するロッカー管理システムに直接関連していないが、広告を希望する個人、会社、団体、公共機関等が広告主体であってもよい。

【 0 0 2 5 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の広告システムの一実施形態の構成を示す図である。図 1 に示すとおり、本システムは、ロッカー 1 0、利用者 2 0（携帯電話端末 2 0 a）、ロッカー管理センタ 3 0、携帯電話業者 4 0、決済機関 5 0 を具えており、これらの要素は、ネットワーク 1 に接続されている。また、商品を販売する店舗 6 0、販売した商品を配送する宅配業者 7 0、および広告業者 8 0 が、それぞれ通信端末 6 0 a、7 0 a、8 0 a を有しており、これらの端末がネットワーク 1 に接続されている。

【 0 0 2 6 】

ロッカー 1 0 は複数のロッカーボックス 1 1 で構成されており、それぞれのロッカーボックス 1 1 が電氣的に開閉可能な電子錠 1 2 と、少なくとも数桁の文字列を表示することができる表示装置 1 3 と、各ボックスの使用状況を示すランプ 1 4 とを具えている。ロッカー 1 0 は、ロッカー制御装置 1 5 を具えており、この制御装置 1 5 はネットワーク 1 を介してロッカー管理センタ 3 0 と通信を行うと共に、管理センタ 3 0 からの指令に応じて各ロッカーボックス 1 1 の電子錠 1 2、表示装置 1 3、ランプ 1 4 の動作を制御する。ロッカー 1 0 はまた広告用ディスプレイ 1 6 およびスピーカ 1 7 を具えており、これらを用いて広告を行う。

【 0 0 2 7 】

ロッカー制御装置 1 5 はネットワーク 1 を介して送られてくる管理センタ 3 0 からの制御指令によって、各ロッカーボックスの電子錠 1 2 の施錠、解錠操作を行い、この操作に必要な情報を表示装置 1 3 に表示し、操作の対象となるボックスのランプ 1 4 を点灯又は点滅させる。また、広告用ディスプレイ 1 6 とスピー

カ 1 7 の動作を制御しており、広告内容を示す情報を管理センタ 3 0 または広告業者 8 0 から受け取って、広告を行う。

【 0 0 2 8 】

なお、ロッカー制御装置 1 5（ロッカー 1 0）はネットワーク 1 に直接接続されていても良いが、携帯電話業者 4 0 あるいは専用の無線基地（図示せず）間で行われる無線通信を介してネットワーク 1 に接続されても良く、あるいは専用線でロッカー管理センタ 3 0 と直に接続しても良い。なお、本例では、ロッカー制御装置 1 5 を介して、広告媒体である広告用ディスプレイ 1 6、スピーカ 1 7 の動作を制御するようにしているが、ディスプレイ 1 6 とスピーカ 1 7 をネットワーク 1 に接続して管理センタ 3 0 がこれらの動作を直接に制御するようにしても良い。

【 0 0 2 9 】

ロッカー利用者 2 0 が有する携帯電話端末 2 0 a は、携帯電話業者 4 0 及びネットワーク 1 を介してロッカー管理センタ 3 0 と双方向通信を行い、管理センタ 3 0 に対しロッカー 1 0 の空き情報や、ロッカー 1 0 の解錠又は施錠を要求する。また、ロッカー管理センタ 3 0 から送信される情報を利用者に通知する。

【 0 0 3 0 】

ロッカー管理センタ 3 0 は、各ロッカーボックス 1 1 の使用状況を管理しており、端末 2 0 a からの要求に応じて、利用可能なロッカー（ボックス 1 1）の情報を端末 2 0 a に対して送信したり、ロッカー制御装置 1 5 に対しボックス 1 1 の解錠及び施錠等の制御指令を送信する。ここで行われる管理センタ 3 0 と利用者 2 0（端末 2 0 a）との通信により、管理センタ 3 0 は利用者の個人情報（氏名、性別、年齢等）を得ることが可能であり、この情報を自身の情報蓄積手段（図示せず）に蓄積しておくことができる。また、ロッカー利用時における両者の通信から、利用者と、その利用者が使用するロッカーを対応付ける情報、および当該ロッカーの使用期間に関する情報を得ることが可能である。このようなロッカー管理システムについては、本願人が先に出願した特願 2 0 0 0 - 3 8 9 3 2 9 号、および特願 2 0 0 1 - 2 5 8 6 5 号の明細書に詳しく記載されているので、ここでは説明を省略する。

【0031】

またロッカー管理センタ30は、利用者がロッカーを利用した履歴を管理する機能、および広告を行った履歴を管理する機能を有し、ロッカー利用者20（端末20a）のロッカーボックス11の利用料金、及び広告主体（店舗60、宅配業者70もしくは広告業者80）の広告料金を予め取り決めた約定に即して課金し、決済機関50に送信する。

【0032】

決済機関50は、ネットワーク1を介してロッカー管理センタ30から送られてくる利用者のロッカーの利用状況に応じてロッカー利用者とロッカー管理センタとの間ではロッカー利用料を、また、広告主体とロッカー管理センタの間では、広告主体の広告状況に応じて広告料を決済する。

【0033】

上述したシステムにおける広告方法をフローチャート（図2、図3）を用いて以下に具体的に説明する。なお、ここでは、ロッカー利用者20が店舗60から商品を購入し、店舗60が当該商品をロッカー10に格納し、所定の期間内にロッカー利用者20がロッカー10から商品を取り出すことによって、納品を行うといったロッカーシステムの利用形態における広告方法を例にとって説明する。

【0034】

図2に示すように、利用者20がロッカー利用の申し込み手続や決済方法を決定する手続を行う際に、ロッカー管理センタ30は、利用者20に関する個人情報（氏名、性別、居住地域、年齢等）を得て、これを蓄積する（ステップS1）。

【0035】

利用者が商品の発注を行いその商品の納品先にロッカー10を指定した場合、ロッカー管理センタ30はこの利用者と、当該利用者が使用するロッカー、及び当該ロッカーを使用する期間を特定することが可能であり、これに基づいて、当該利用者の個人情報と、当該利用者が使用するロッカー10（ロッカーボックス）の位置情報、使用期間情報を広告業者80に開示する（ステップS2）。なお、ここで開示する個人情報は、年齢、性別等、広告のターゲットを絞るのに必

要な情報のみとに限定することが好ましい。

【0036】

広告業者80は、ロッカー管理センタ30から入手した情報を基に、利用者に適した広告チラシを選定（ステップS3）し、前記特定したロッカーボックスへその広告チラシを投入する（ステップS4）。ロッカーボックス11は、ロッカー利用者が行うのと同様に、管理センタ30との間で通信を行って解錠、施錠を行う。なお、ロッカーボックスの外部にチラシを入れる穴あるいはポケットを設けて、広告業者による解錠、施錠作業を行うことなく広告チラシを配布するようにしても良い。

【0037】

なお、店舗60、または、宅配業者70を利用して商品をロッカーに格納する場合は宅配業者70に広告チラシの配布を委託して、商品と共にチラシを配布してもらうようにしても良い。

【0038】

ロッカー管理センタ30は決済機関50を介して、広告料の決済を行う（ステップS5）。広告料は、広告業者80に提供した情報量、広告業者がロッカーボックスを開閉した回数などによって算出することができる。また、月極等、一定期間定額で広告料を課金することもできる。なお、本例では、広告用ディスプレイ16やスピーカ17はなくても良い。

【0039】

次いで本発明の広告方法の第2の実施形態を説明する。第2実施形態では、広告チラシに変えて、ディスプレイ16やスピーカ17を用いて広告するようにしている。

【0040】

図3に示すように、ロッカー利用の申し込み手続や、決済方法を決定する手続を行う際に、ロッカー管理センタ30は、利用者20に関する個人情報（氏名、性別、住所、年齢等）を得て、これを蓄積する（ステップS11）。管理センタ30は、ロッカー利用者20からロッカー10を利用する旨の通知を受けた際に、この情報と、使用するロッカーのID情報を広告業者80に開示する（ステッ

プ S 1 2)。

【 0 0 4 1 】

広告業者 8 0 は、この管理センタ 3 0 から提供された情報を基に、ディスプレイ 1 6 やスピーカ 1 7 で流す広告の内容を選定して管理センタ 3 0 に通知して（ステップ S 1 3）、管理センタ 3 0 ではこれを受けてロッカー 1 0 のディスプレイ 1 6、スピーカ 1 7 に広告データを送信する（ステップ S 1 4）。

【 0 0 4 2 】

ロッカー管理センタ 3 0 は、広告業者 8 0 に提供した情報量、ディスプレイ 1 6 やスピーカから流した広告の数、文字数、時間等により広告料金を算出して、決済機関を介して広告業者に対して課金を行う（ステップ S 1 5）。

【 0 0 4 3 】

本発明の広告方法では、利用者 1 0 のロッカー利用方法は様々であり、店舗 6 0 から商品を購入して、その納入にロッカー 1 0 を利用する場合、あるいは、利用者 1 0 が一時的に物を預けるのにロッカー 1 0 を利用する場合等が考えられる。前者の場合は、商品購入者と受取人が異なる場合、後者の場合は物を預けた利用者と、預けた物を取り出す利用者が異なる場合もあり得る。このような場合でも、ロッカーを使用する際に利用者 2 0 と管理センタ 3 0 間で通信を行ってロッカーの解錠、施錠が行われるので、ロッカー利用者を特定することができるので、ロッカーの開閉を行う利用者の年齢、性別等に合わせて効果的に広告を行うことが可能である。

【 0 0 4 4 】

また、広告主体には様々なものが考えられる。図 1 に記載されている、店舗、宅配業者はもちろんのこと、ロッカーシステム自体の広告や、その他の業者からの広告も考えられる。ロッカー管理センタは広告業者 8 0、決済機関 5 0 を兼ねることが可能である。また、利用者 2 0 が携帯電話業者 4 0 を介してロッカー管理センタ 3 0 と通信を行う場合は、携帯電話業者 4 0 がロッカー管理センタ 3 0 を兼ねる場合も考えられる。

【 0 0 4 5 】

本発明の広告方法では、ロッカー管理センタ 3 0 にて、広告主体、広告内容を

特定し、履歴として管理することができるため、様々な課金形態を適用することができる。すなわち、上述の実施形態のように、広告を行う回数、広告文字数、あるいは広告時間に比例して課金を行う他に、月極など一定期間定額で課金することも可能である。さらに、頻繁に広告する広告主への割引などを実施することもできる。また、決済機関50による決済方法も、一回の利用毎に請求書を発行する方法の他、一定期間毎（例えば月に一度）にその期間内の広告料を合算して請求しても良いし、プリペイド方式やネット接続された銀行口座からの自動引き落としなどの決済方法を適用することが可能である。

【0046】

ディスプレイ16やスピーカ17から流す広告情報は、上述の実施形態の用に、広告業者80の指示に応じてロッカー集中管理センタ30が流すようにするほか、広告業者80から広告用ディスプレイ16やスピーカ17に直接伝達するようにしてもよい。また、ディスプレイ16とスピーカ17をロッカー制御装置15により制御するように構成する場合には、これらの広告情報は、ロッカーボックス11の施錠・解錠制御と同様のネットワークを利用することも可能である。

【0047】

また、上述した実施形態では、管理センタ30から広告主体側へ利用者に関する情報が開示される都度、広告内容を選択するようにしているが、例えば、ロッカー制御装置内の記憶手段などを利用して、ロッカー側に予め複数種類の広告情報を蓄えておき、ネットワークを介して伝達される制御指令により、蓄積された広告情報から選択的に表示・発生されることも可能である。なお、この場合には、利用者がロッカーボックスを解錠・施錠するタイミングに合わせて広告を作動させる方法が、より広告効果が期待できる。解錠・施錠するタイミングは、利用者が端末20Aで、ロッカー集中管理センタ30にアクセスすることにより、判断可能である。

【0048】

【発明の効果】

以上詳細に説明したとおり、本発明のロッカー管理システムを活用した広告方法によれば、ロッカーの利用者の特徴が絞り込めるため、効果的な広告が可能と

なる。また、広告収入が入るため、現状のコインロッカーシステムと比較して割高となる本ロッカー管理システムについても運営可能性が高くなる。しかも、場合によっては広告収入を利用料金低減に当てることも可能となり、より集客性の高いロッカーの運営が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 図 1 は、本発明の利用するロッカー管理システムの一実施形態の構成を示す図である。

【図 2】 図 2 は、本発明の広告方法の実施形態を説明するためのフローチャートである。

【図 3】 図 3 は、本発明の広告方法の他の実施形態を説明するためのフローチャートである。

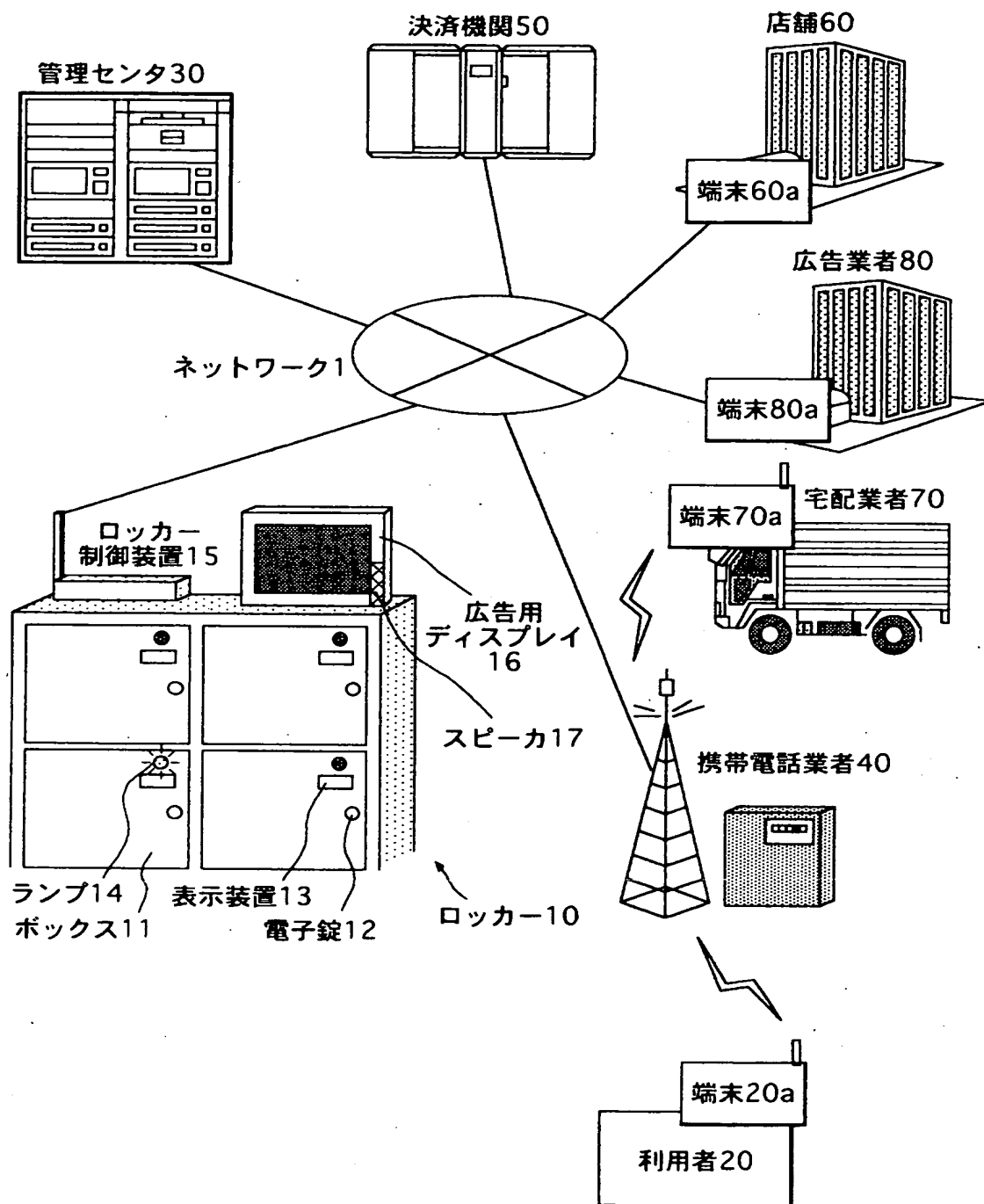
【符号の説明】

- 1 ネットワーク
- 1 0 ロッカー
- 1 1 ボックス
- 1 2 電子錠
- 1 3 表示装置
- 1 4 ランプ
- 1 5 ロッカー制御装置
- 1 6 広告用ディスプレイ装置
- 1 7 スピーカ
- 2 0 ロッカー利用者
- 3 0 ロッカー集中管理センタ
- 4 0 携帯電話業者
- 5 0 決済機関
- 6 0 店舗
- 7 0 宅配業者
- 8 0 広告業者
- 2 0 a、6 0 a、7 0 a、8 0 a 通信端末

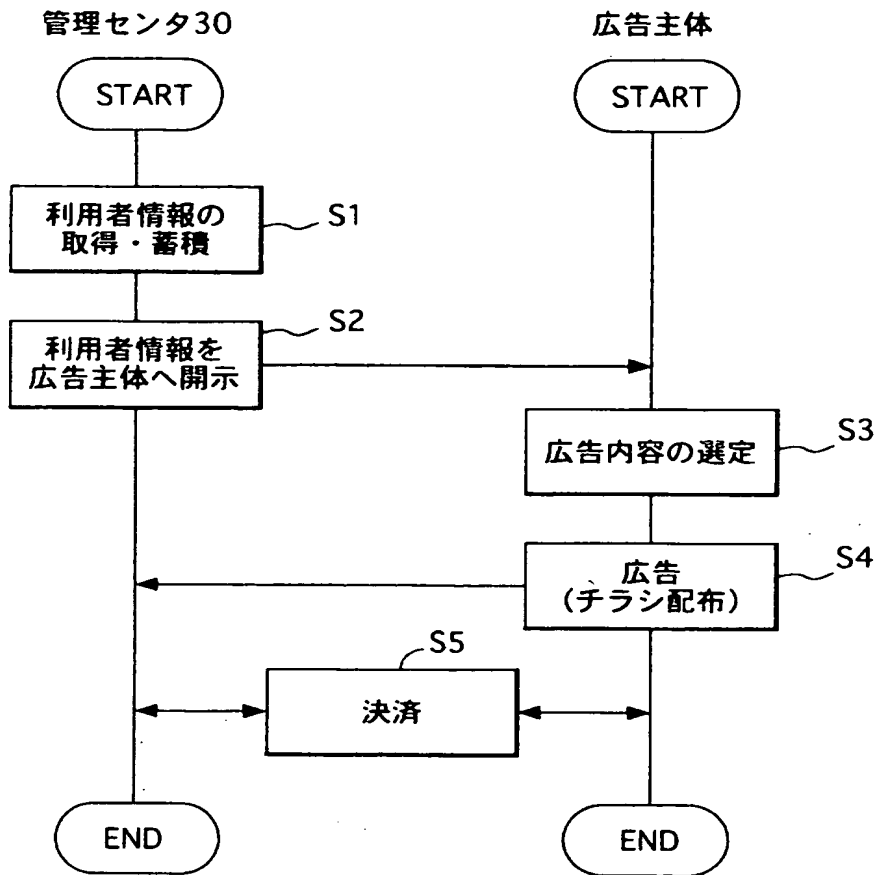
【書類名】

図面

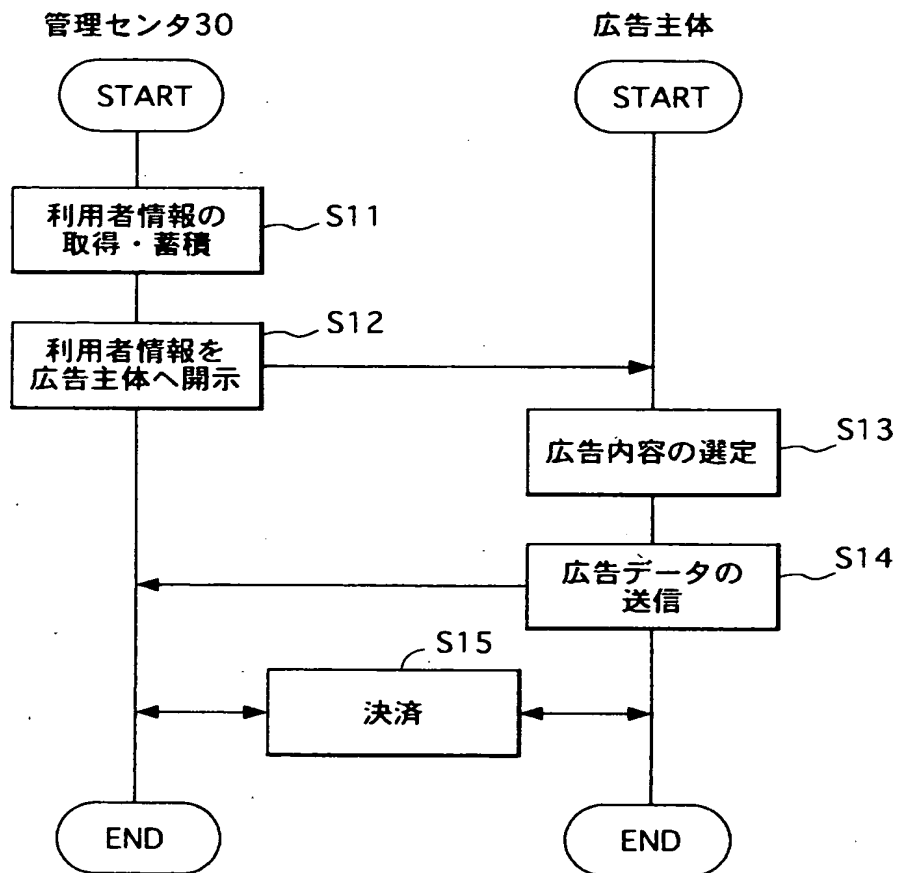
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明の課題は、ロッカーボックスの利用者に係る情報を活用して、利用者に適した広告情報を効率的な広告方法を提供することである。

【解決手段】 少なくとも一のロッカーボックスを具えるロッカーと、当該ロッカーの管理運営を行うロッカー管理主体と、前記ロッカーの利用者が有する通信端末をネットワークを介して接続して、前記ロッカー管理主体とロッカー利用者との間で通信を行って、各ロッカーボックスの解錠、施錠動作を前記ロッカー管理主体の管理の下に行うようにしたロッカー管理システムを構築し、前記ロッカーまたはロッカーボックスの各々に広告媒体を配置して、前記ロッカー管理主体が得たロッカー利用者の情報に基づいて前記広告媒体に載せる広告内容、および広告を行うタイミングを決定するロッカー管理システムを活用した広告方法。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-043529
受付番号	50100235577
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 2月21日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成13年 2月20日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 4 2 3 7]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 2 9 日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
氏 名 日本電気株式会社